

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 10週

集計期間 3/3-9

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症	2													2
咽頭結膜熱							1							1
溶連菌感染症				1		1	2	3	2	1		1		11
感染性胃腸炎		2	2	3	12	10	11	15	4	5	9	16	1	90
水痘						1								1
手足口病														
伝染性紅斑														
突発性発疹			2											2
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎										1				1
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu	1	1	5	6	5	8	10	16	7	15	17	59		1
小児科定点総数 259 増減 -25 前週比 91.2% 定点当たり 43.2														
病院:開業医 10:249 増減 +3:-28														
内科Flu					1					1	2	5	6	22
インフルエンザ総数 188 増減 -42 前週比 81.7% 定点当たり 20.9														
小児科:内科 151:37 増減 -32:-10														

総数259、前週の91.2%と、やや減少です。

首位は、インフルエンザ、前週比82.5%、定点当たり25.2と2割減です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比112%、定点当たり15と、増加です。

3位は、溶連菌感染症、前週比110%、定点当たり1.8と、僅かに増加です。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1以下で少数です。

RSウイルス感染症2名、咽頭結膜熱1名が目立ちます。

内科も含むインフルエンザ、前週比81.7%と減少、9定点中9定点から報告です。

小児科定点は、A型40、B型96、型報告無15で、A型が29.4%になりました。

内科定点では、A型8、B型29で、A型が21.6%と、どちらも、Bが7-8割になりました。

やっと減少に転じましたが、2割減なので、減少は穏やかです。

3/9小児科休日当番医、インフルエンザ58名検査して、A型15名、B型18名陽性、検査無しで診断3名で、36名と御報告をいただいています。

減少には、転じましたが、まだまだ流行期の様相で、終息は春休みになるのでしょうか。